



研究紹介

[ホーム](#) > [研究紹介](#) > [研究領域](#) > [援助戦略](#) > 学習成果と衡平性に資する教育システム分析ツール(SABER)の開発研究 (参加型学校運営制度、分権化とアカウンタビリティを中心に)

学習成果と衡平性に資する教育システム分析ツール(SABER)の開発研究 (参加型学校運営制度、分権化とアカウンタビリティを中心に)

終了プロジェクト

世界銀行は同水準の予算投入で高い学習成果を引き出す質の高い政策や制度に焦点を当て、教育システム分析ツール (SABER) の開発及び国際比較データベースの構築を試みています。研究所が行う本研究の目的は、世界銀行のこのような試みに関し改善策を提案することです。同研究では、特に学校運営制度と分権化に係る政策ドメインの分析ツールに焦点を当て、JICAの現場での知見に基づき、分析ツールの有用性を向上させることを目指しています。初等教育へのアクセスと教育の質の両方に大きな課題を抱える低所得国・低位中所得国との政策対話への活用を念頭に、分析ツールの改善案の作成・試行します。同研究は、文献調査、比較事例分析、現地調査を通じて実施され、現地調査対象国はセネガル、ブルキナファソとなっています。

研究領域：
援助戦略

研究期間：
2013年4月1日から
2015年3月31日

研究成果 (出版物)

[Measuring the Quality of Education Policies and Their Implementation for Better Learning: Adapting World Bank's SABER Tools on School Autonomy and Accountability to Senegal](#)
[Measuring Quality of Policies and Their Implementation for Better Learning: Adapting the World Bank's SABER Tools on School Autonomy and Accountability to Burkina Faso](#)

関連するニュース&コラム

[東ティモール政府主催のポスト2015開発課題コンサルテーションが実施](#)

ページを共有する

研究所の最新情報をお届けしています。よろしければ、ご登録ください。

メールマガジン

RSS

公式SNS



[サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [個人情報保護](#) [情報公開](#)



国際協力機構 研究所
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5
電話番号：03-3269-2911 ファックス：03-3269-2054

公式SNS

